

## 60種類の彩りをお届け！ JA新おたる赤井川事業所花卉部会「non-no」

キロロリゾート・山中牧場などで有名な赤井川村は、札幌市をはじめ6市町に囲まれた緑豊かな「カルデラの里」です。道内の中では農業の規模は大きくありませんが、一つ一つの生産に手間をかけ、こだわりを持った少量・多品目栽培に取り組んでおり、その品質は高い評価を受けています。

その一つがトルコギキョウであり、今回は、JA新おたる赤井川事業所花卉部会「non-no」を紹介します。

### ★「non-no（ノンノ）」設立

赤井川村では、平成8年度から3戸の生産者で花の生産をスタートしました。

その後、順調に生産者が増えていったことから、品種選定や出荷を地域として計画的に進めるべきと考え、JA新おたる赤井川事業所花卉部会「non-no」を設立しました。

その結果、生産者間で品種選定や出荷の調整が可能となり、出荷基準を設けることで品質の向上につながりました。

部会の名称である「non-no（ノンノ）」とは、アイヌ語で「花」という意味です。

### ★独自の厳しい出荷基準

non-noは、道の出荷基準よりさらに厳しい基準を独自で設け、『量を求めるのではなく手間をかけて良いものを作る』ことを信条としています。そのため、市場での評価が高いため、同一規格では赤井川のものが最高値を付けることも多く、市場の価格の基準となるほどです。

### ★60種類の彩り

トルコギキョウとひと口に言っても、たくさんの品種があり、non-noでも60種類以上の品種を栽培しています！

品種は固定されているわけではなく、毎年、数十種類が入れ替わる中でも、生産者は高い技術と手間を惜しまぬ栽培に取り組み、消費者の皆さんにたくさんの彩りを提供しています。

### ★産地交流

消費者や大学のインターンシップなど積極的に産地に受け入れ、生産者は活発な交流を行っています。

顔の見える関係づくりから、消費者の花に対する理解も高まり、花に触れる機会も増えたそうです。

この取組は非常に好評のため、何年も交流が続いています。



### ★トルコの温泉

もちろん、トルコ共和国 (Turkey) の温泉ではありません(笑)トルコギキョウを温泉の湯船に浮かべセレブな気分を味わえるものです。

花は生産する段階で咲いてしまうと落としてしまうため、捨てられる運命にあります。そのため、non-noでは、有効活用とPRを兼ねトルコギキョウの温泉を考案し、2010年に実施したところ大好評でした。



昨年は、残念ながら実施されませんでした。またぜひ行ってもらいたい取組です。

### ★花の新規就農を志すあなたへ

赤井川村では、花の新規就農者を志す方を募集しています。

花は、農業の中でも重い物を持つたりすることが少なく、繊細な作業と美しいものを見分ける目が必要であり、特に女性の方に最適な作物です。

赤井川村は、町やJAの支援やサポート体制が充実しているので、ぜひご検討ください。

◆<http://www.akaigawa.com/kurashi/index26.html>

### ★取材を終えて

取材には、まだ花が残る10月と育苗期間中の3月に行きました。

その際、生産者・JA・町、それぞれの方に話を聞きましたが、皆さん口を揃えて『品質が第一』と言っていました。

赤井川村では、農業振興センターが育苗を一手に担い品質を安定させるとともに、各種講習会や日頃からの活発な交流により、地域一丸となり品質の向上に努めています。

そうした地道な取組が、高い評価とブランド化につながっています。

女性が送られて嬉しいプレゼントとして、今も昔も『花』の人気は不変です。花は、自分の心を豊かにするとともに、大事な方に幸せを送ることができます。皆さんも身近なところから、花のある生活を楽しんでいただきたいと思います。

◆「non-no通信」 [http://www.geocities.jp/nonno\\_eustoma/index.htm](http://www.geocities.jp/nonno_eustoma/index.htm)



平成24年3月15日撮影

(平成23年10月、平成24年3月取材 後志総合振興局農務課)